

財政のシミュレーションは信用できるか

小林 光 議員



問：小林 光議員

8月5日発生の平岡水害の原因は、管理責任は誰か人災ではないか。町の対策は。

答：矢嶋町長

局地的豪雨で梨木原の畑地から大量の水が古森川の土砂や岩を押し流し、暗きよ部で詰まり、一気に住宅や国道に流れ込んだ。町が管理責任者。人災の面もあり、上の水をどこに逃がすかで、考慮している。



局地的豪雨による被害状況

問

合併問題と財政について、合併しない場合の財政シミュレーションの信用性は。「三位一体」議論の最終決着をどう予想するか。地方自治とは何か。

答：町長

県の長野モデル策定マニュアルにより作成した。推計は予測であり、今後、地方財政制度の変化が見込まれるなど、地方交付税が財源の大きなウエイトをしめる当町では不確定要素が多い。推定期間は20年と長く、「三位一体」の改革とともに最終予測は難しい。地方自治とは、町の公共的業務を住民の負担と責任で自主的

に決定処理する事だ

問

合併によって広域連合がどうなるのか。

答：町長

広域連合については一切の議論はされていない。

問

財政シミュレーションのC案は、県からも「破綻するグラフを見せて合併を迫るものではない」とある。説明書から除くべきではないか。

答：植松企画財政課長

一番厳しいパターンで、必ずしもこうなるものではない、と説明会の中で話してゆく。

問：平出高博議員

諏訪地方合併問題が詰め段階に入ってきたが、計画されている事業のうち、合併したら不要となる事業や、再検討すべき事業は、中止したり先送りする事が必要と考える。これらの不要となる事業の代わりに各区からの要望を今のうちに予算化できないか。

答：矢嶋町長

町では総合計画に基づき、洪水などによる土砂災害を

合併と決定された場合の対応について

平出 高博 議員



未然に防

止するため、各事業とも緊急度と事業効果の高い地域を考慮して、計画的に順次実施している。

問

毎年同じ要望を出さなくて済む方法を検討できないか。

答：町長

一箇所について、一度要望書を提出してあれば良いと考えている。又そのように指示している。口頭による場合でも、口頭記録用紙に職員が記録して、町長のところまで上がるような仕組みとなっている。

問

6市町村合併が決定された場合、合併の期日まで、町の長期総合計画に従い町政を行うのか。

答：町長

事務事業の調整では、条



富士見高原スキー場に咲いた満開のゆり

例の作成、情報システムの統合に時間と費用がかかる見込み。その他に本庁の位置、平成17年度の予算編成、新市首長・議員選挙の準備が必要。長期総合計画を、新市の中で織り込むのかについては、新市建設計画の中で採択されるよう努力したい。

問

合併説明会では偏りのない内容とすべきだが。

答：町長

役場職員には偏りのないよう説明させる。